

Hinemos Webクライアント ver1.0
インストールマニュアル
第1.1版

目次

1	ライセンス	3
2	はじめに	4
3	前提条件	5
3.1	システム構成	5
3.2	動作環境	5
3.3	使用ソフトウェア	6
4	インストール手順	7
4.1	インストール操作の流れ	7
4.2	インストールパッケージの展開	8
4.3	アプリケーションサーバの停止	8
4.4	インストーラの実行	9
4.4.1	インストーラの起動とインストーラ実行確認	9
4.4.2	アプリケーションサーバディレクトリ入力	10
4.4.3	インストールサーバの種類選択	10
4.4.4	サーバ設定セットの選択(JBossのみ)	10
4.4.5	server.xmlの更新選択	11
4.4.6	インストール設定内容の確認	11
4.4.7	インストール完了	12
4.5	サーバの再起動とアプリケーションの確認	13
5	上書きインストール	14
5.1	上書きインストールの注意	14
5.2	上書きインストールの操作	14
6	アンインストール手順	15
6.1	アンインストール操作の流れ	15
6.2	アプリケーションサーバの停止	15
6.3	アンインストーラの実行	16
6.3.1	アンインストール実行確認	16
6.3.2	アンインストール実行完了	17
6.4	アプリケーションサーバの起動	17
7	トラブルシューティング	18
7.1	インストーラのエラーメッセージ	18
7.2	アンインストーラのエラーメッセージ	20
7.3	手動でのアンインストール	21
7.3.1	インストールされたファイルの情報確認	21
7.3.2	インストールされたファイルの削除	22
7.3.3	バックアップファイルの復元	23
7.3.4	HinemosWeb クライアントインストールディレクトリの削除	23
7.3.5	アンインストール確認	23
7.4	インストールログ・アンインストールログ	23
8	変更履歴	24

1 ライセンス

HinemosWebクライアントは GNU General public License となります。また、HinemosWebクライアントは、表 1-1 使用ソフトウェアとライセンス のソフトウェア・ライブラリを使用します。予め利用規約について同意頂けますようお願いいたします。

表 1-1 使用ソフトウェアとライセンス

また、動作環境として用いられるアプリケーションサーバのライセンスについては、それ

Hinemos	GPL(GeneralPublicLicense) http://ossipedia.ipa.go.jp/legalinfo/gpl-3.0J.html
Eclipse 3.3.2	EPL(EclipsePublicLicense) http://www.eclipse.org/legal/epl-v10.html
JBoss 4.2.2.GA	LGPL(GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE) http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html
JavaVM JRE1.5.0_22	OracleCorporationBinaryCodeLicenseAgreement http://java.sun.com/j2se/1.5.0/jdk-1_5_0_22-license.txt

それぞれのプロダクトサイトをご参照ください。

2 はじめに

本マニュアルでは、HinemosWebクライアントのインストール方法、アンインストール方法について説明します。

3 前提条件

この章では、インストールに必要な動作環境、及び、動作に必要なアプリケーションについて説明します。

3.1 システム構成

HinemosWebクライアントは、Hinemos(バージョン 3.1/3.2)の動作環境が既に構築されていることを前提とします。

HinemosWebクライアントは、Hinemosマネージャサーバと同一のネットワーク上でクライアントアプリケーションとして動作します。Hinemosの構築については、Hinemosインストールマニュアルをご参照ください。

また、HinemosWebクライアントは、Hinemosマネージャをインストールした同一サーバ上にインストールする事を標準としていますが、JBoss4.2.2 や Tomcat5.5/6.0 上にインストールすることも出来ます。

3.2 動作環境

HinemosWebクライアントの動作には、以下(表 3-1 動作環境要件)の環境が必要となります。

表 3-1 動作環境要件

Hinemos	Hinemos v3.1.x または v3.2.x (同一ネットワーク上で構築済みであること)
アプリケーションサーバ	JBoss Application Server 4.2.2.GA または、Tomcat5.5/6.0 ※Hinemos 付属の JBoss 以外で動作させる場合のみ必要。
JavaSE	JDK 1.5 または JDK1.6
OS	RedHat Enterprise Linux 5 update 6 以降 (x86_32bit 及び x86_64bit)

また、HinemosWeb クライアントを稼働させるマシンとして、以下(表 3-2 推奨されるマシンスペック)の内容が推奨スペックとなります。

表 3-2 推奨されるマシンスペック

CPU	1GHz 1 コア以上。 (Hinemos マネージャと同居する場合は、2GHz 1 コア以上)
メモリ	1GB 以上
HDD	5GB 以上

3.3 使用ソフトウェア

HinemosWeb クライアントでは、以下のプログラム・ライブラリを間接的/直接的に利用おります。

表 3-3 使用ソフトウェア

Hinemos3.1, 3.2	http://www.hinemos.info/
Eclipse 3.3.2	http://www.eclipse.org/
JBoss	http://www.jboss.org/
JavaVM JRE1.5	http://www.oracle.com/index.html

4 インストール手順

この章では、インストール操作を説明します。

なお、インストール・アンインストール操作は、必ず root ユーザで実行する必要があります。また、本書では、HinemosWebクライアントインストーラの展開先を、「/tmp」、インストール先 Webサーバを Hinemos 付属の JBoss4.2.2GA とする手順を例に説明します。インストーラの展開先、アプリケーションサーバ操作等は、お使いの環境に合わせ適時読み替えをお願いいたします。

4.1 インストール操作の流れ

インストール操作の流れを以下のフロー(図 4-1 インストール操作の流れ)に示します。各操作の詳細は、該当する各章を参照ください。

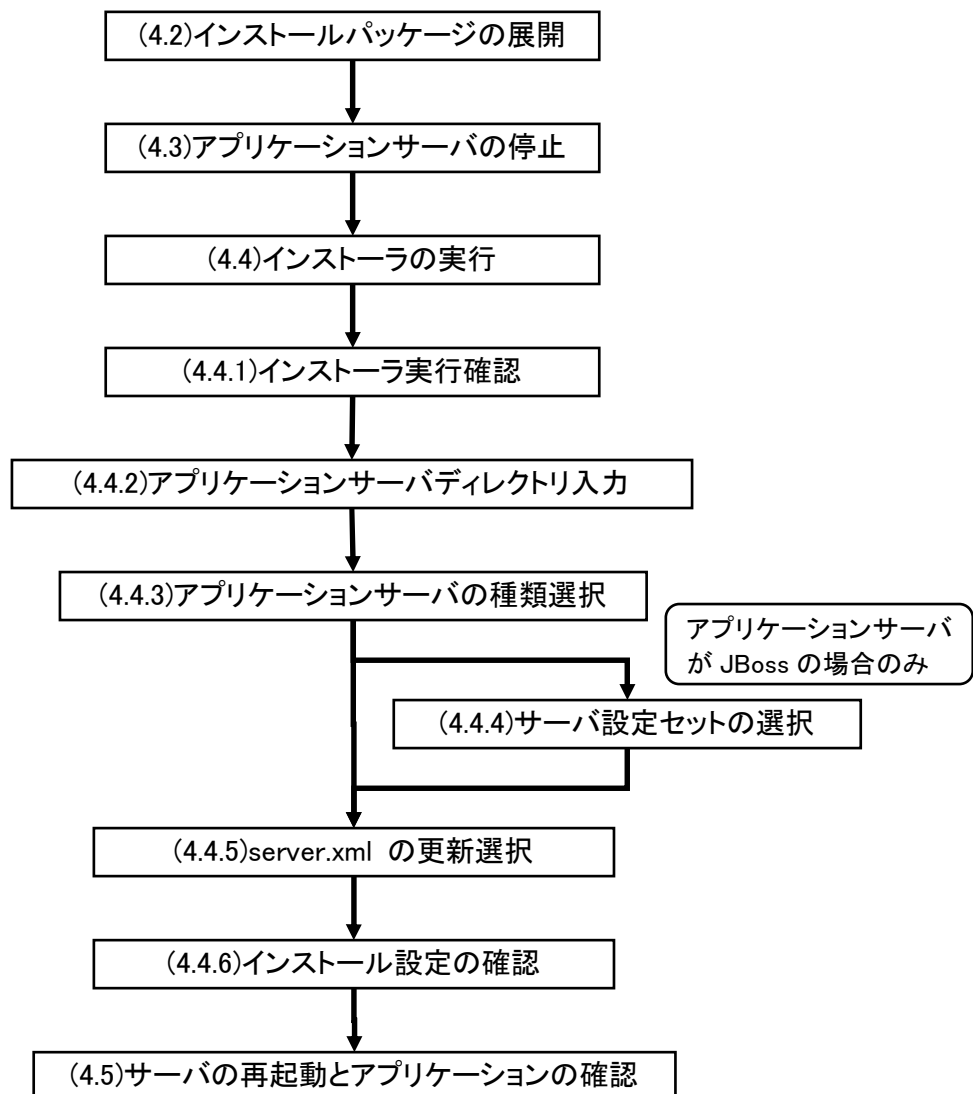


図 4-1 インストール操作の流れ

4.2 インストールパッケージの展開

HinemosWebクライアントインストーラパッケージ(HinemosWebClient-1.0.0.tar.gz)をカレントディレクトリに展開します。

下記のコマンドによりファイルを展開します。

```
# tar zxvf HinemosWebClient-1.0.0.tar.gz
```

HinemosWebClient-1.0.0 ディレクトリが作成され、以下のファイル・ディレクトリ階層が展開されます。

```
HinemosWebClient-1.0.0
├─ install.cfg                インストール設定ファイル
├─ installer_all.sh          インストール処理本体
├─ webclient_installer_EN.sh  英語環境インストーラ
├─ webclient_installer_JP.sh  日本語環境インストーラ
├─ uninstaller_all.sh       アンインストール処理本体
├─ webclient_uninstaller_EN.sh  英語アンインストーラ
├─ webclient_uninstaller_JP.sh  日本語アンインストーラ
├─ README                   説明ファイル(日本語・英語)
├─ LICENSE                  ライセンスファイル
├─ hinemos_web/             HinemosWebクライアントのインストールデータ
└─ lib/                     インストール用ライブラリ
```

4.3 アプリケーションサーバの停止

アプリケーションサーバを設定する為、実行中のアプリケーションサーバを停止します。各サーバの停止手順は、各サーバのマニュアルをご参照ください。

本書では、Hinemosマネージャ付属のJBossにインストールを行う為、Hinemosマネージャを停止します。

```
# /opt/hinemos/bin/hinemos_stop.sh
```


4.4 インストーラの実行

以降の例では Hinemos3.2 付属の JBoss4.2.2GA へインストールする手順に沿って説明します。

4.4.1 インストーラの起動とインストーラ実行確認

インストーラを起動します。上記 4.1 で展開したディレクトリの webclient_installer_JP.sh を実行します。

```
# cd HinemosWebClient-1.0.0
# ./webclient_installer_JP.sh
```

以下のWelcome画面が表示されます。

```
ユーザ情報の確認中。
[OK]

Java, Jar 環境の確認中。
[OK]

Hinemos のバージョンを確認しています。
[OK]

-----

Welcome to the installation for Hinemos Web Client
Version 1.0.0

Copyright (C) NEC Corporation 2012. All Rights Reserved.

-----

HinemosWebClient のインストールを開始しますか?(Y/N)(デフォルト:Y):
```

Yを入力するか、未入力のままEnterキーを押下することでインストールが開始されます。Nを入力すると、インストールをキャンセルし、インストーラは終了します。

4.4.2 アプリケーションサーバディレクトリ入力

インストール済みアプリケーションサーバディレクトリを入力します。未入力の場合、デフォルトで表示されているアプリケーションサーバディレクトリが設定されます。

Hinemos 付属の JBoss を利用する場合、デフォルトのままエンターを押下します。

インストール済みアプリケーションサーバディレクトリを入力してください。(デフォルト:/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA):

4.4.3 インストールサーバの種類選択

アプリケーションサーバの種類を選択するメッセージが表示されますので、使用するアプリケーションサーバを選択してください。

Hinemos 付属の JBoss を利用する場合、デフォルトのままエンターを押下します。

アプリケーションサーバパスの確認中。

[OK]

使用しているアプリケーションサーバを選択してください。

0. Tomcat

1. JBoss

選択値(デフォルト:1):

4.4.4 サーバ設定セットの選択(JBoss のみ)

アプリケーションサーバの種類にJBossを指定すると、JBossサーバの設定セットの一覧が表示されます。どの設定セットでHinemosWebクライアントをインストールするかを選択してください。

Hinemos 付属の JBoss を利用する場合、デフォルトのままエンターを押下します※。

サーバ設定セットディレクトリを選択してください:

0. /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/all

1. /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default

2. /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/minimal

番号入力(デフォルト:0):

※HinemosHA オプション(有償)をご利用の場合は、「all」を選択してください。

4.4.5 server.xml の更新選択

HinemosWebクライアントではセキュリティ強化の為、server.xml ファイルの Connector 定義に対し、「emptySessionPath="false"」の値を設定するよう推奨しています。インストールサーバ選択 (JBossの場合はサーバ設定セット選択)後、インストーラによる自動設定を行うかどうかの選択を表示します。

デフォルトは Y (自動設定を行う)となっていますが、既存のサーバ設定を変更したくない、または自分で編集したい場合などは N (自動設定を行わない)を入力します。

```
server.xml を更新して、Server/Connector(HTTP/1.1)の設定 emptySessionPath を
false に設定します。
server.xml の更新を行いますか?(Y/N)(デフォルト:Y):
```

4.4.6 インストール設定内容の確認

上記手順が完了すると、インストール設定内容の確認画面を表示します。インストールの設定内容が正しい場合は Y を入力して継続してください。訂正する場合は、N を入力し、再度4.4 インストーラの実行より操作を行ってください。

```
インストール設定情報を確認しています。
インストール先ディレクトリ : /opt/hinemos_web
インストール先サーバ      : 1 (0.Tomcat, 1.JBoss)

サーバライブラリパス      :
- /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/lib
- /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer
- /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/client
仮想ホスト                 : localhost
コンテキストルート        : hinemos
server.xml 更新(Y/N)       : Yes
server.xml パス           :
/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer/server.xml
インストールを継続します。よろしいですか?(Y/N)(デフォルト:Y):
```

4.4.7 インストール完了

全ての設定が完了すると、インストーラはコピー・編集等の操作を実行し、ご使用の環境にインストールを行います。

HinemosWebClient のルートディレクトリを確認しています。
インストール先ディレクトリの /opt/hinemos_web を作成しました。
インストールディレクトリに必要なファイルをコピーしています。
[OK]

Jboss アプリケーションサーバへのインストールを行います:

Jboss のデプロイ先ディレクトリを確認しています。
[OK]

Jboss のライブラリディレクトリを確認しています。
[OK]

Jboss のライブラリディレクトリを確認しています。
Jboss の共有ライブラリディレクトリの既存の依存ファイルを確認しています。
[OK]

jboss-web 設定ファイルを作成しています。
[OK]

既存の war ファイルを確認しています。
[OK]

既存の war ファイルをバックアップしています。
[OK]

Jboss へのデプロイを実行します。

/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer/server.xml ファイルをバックアップしています。
[OK]

/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer/server.xml ファイルを更新しています。
[OK]

インストールが完了すると、終了メッセージと共に、アプリケーションサーバの再起動を促すメッセージを表示します。

HinemosWebClient のインストールが完了しました。
アプリケーションサーバの再起動を行ってください。

4.5 サーバの再起動とアプリケーションの確認

アプリケーションサーバを再起動し、インストールされたアプリケーションが動作することを確認します。

アプリケーションサーバの再起動は、各アプリケーションサーバのドキュメントを参照ください。本書ではHinemosマネージャ上のJBossにインストールしている為、Hinemosマネージャを再起動します。

```
# /opt/hinemos/bin/hinemos_start.sh
```

再起動が完了すると、ブラウザでHinemosWebクライアントへアクセスできるようになります。(インストール時の設定内容によりURLは変化しますが、デフォルトの場合、下記URLからHinemosWebクライアントを利用することができます。)

`http://(インストール先サーバIP):8080/hinemos/`

ログイン画面が表示されれば、インストールは全て終了です。利用方法については、ユーザマニュアルを参照ください。

※ 起動ポート番号について。

Hinemos マネージャの JBoss はデフォルトの HTTP ポートが 8080 番で設定されています。このポート番号は、下記 `server.xml` を更新することで、変更することができます。

1. 「`/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer/`」ディレクトリの `server.xml` をテキストエディタで開きます。
2. `Server/Service/Connector` タグのうち、「`port="8080"`」と記載されたものを、「`port="80"`」として書き換えます。
3. アプリケーションサーバを再起動すると設定が有効となり、80 番ポートで起動します。

この設定ファイルの詳細については、各サーバプログラムのマニュアルをご参照ください。

注意:

- Apache 等の他のアプリケーションで 80 番ポートが使われている場合、正常に起動できない場合があります。
- 同じサーバ上で動作する Web アプリケーションも影響を受けます。

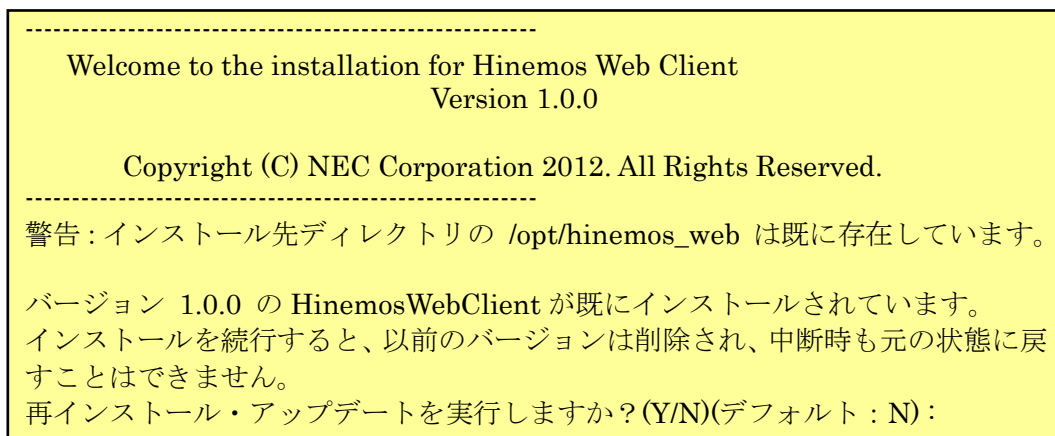
5 上書きインストール

ここでは、既にHinemosWebクライアントがインストール済みの環境にて、既存のHinemosWebクライアントを上書きしてインストールする手順を説明します。

5.1 上書きインストールの注意

HinemosWebクライアントの上書きインストールは、インストーラを実行することで行います。このとき、インストール設定ファイル(install.cfg)の設定項目、インストール先ディレクトリ(HINEMOS_WEB_HOME)が既存のHinemosWebクライアントと同一の場合、既存のHinemosWebクライアント情報を上書きします。警告メッセージが表示されますので、上書きインストールを実行する場合は Y を、中止する場合は N を入力します。

一旦上書きインストールを行うと、既存のデータが上書き削除され、中断時でも上書き前の状態に戻すことはできません。※



※ 以前の状態を復元できるようにする場合、インストールディレクトリ(/opt/hinemos_web)をバックアップする必要があります。復元時は、アンインストール完了後、バックアップファイルを元の名称で展開します。

5.2 上書きインストールの操作

インストーラ起動直後、上書きインストールの警告が行われる以外は、通常のインストール手順(4.5)と同じ操作となります。

インストール手順をご参照ください。

6 アンインストール手順

ここでは、アンインストールの手順について説明します。

本書では hinemos3.2 付属の JBoss4.2.2GA へインストールされている場合の例に沿って説明します。インストール先が異なる場合、お使いの環境に合わせ適時読み替えをお願いいたします。

6.1 アンインストール操作の流れ

アンインストール操作の流れを以下のフロー(図 6-1 アンインストール操作の流れ)に示します。

各操作の詳細は、該当する各章を参照ください。

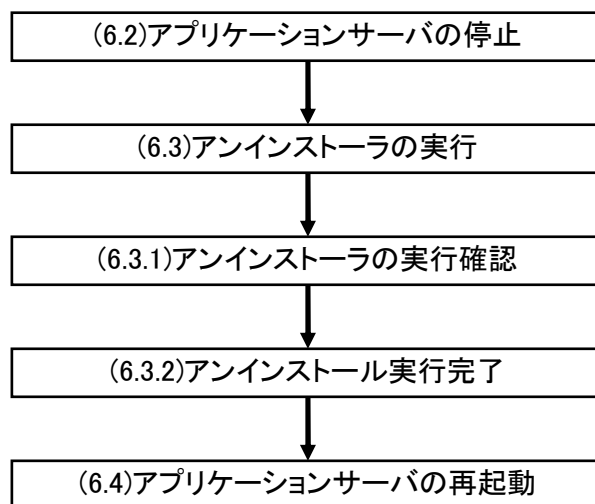


図 6-1 アンインストール操作の流れ

6.2 アプリケーションサーバの停止

実行中のアプリケーションサーバを停止します。各サーバの停止手順は、各サーバのマニュアルをご参照ください。

本書の例では Hinemosマネージャ上のJBossにインストールされている為、Hinemosマネージャを停止します。

```
# /opt/hinemos/bin/hinemos_stop.sh
```

6.3 アンインストーラの実行

アンインストーラは、HinemosWebクライアントのインストールディレクトリ直下の「sbin」(デフォルト設定の場合、/opt/hinemos_web/sbin)に配置されており、コマンドラインより webclient_uninstaller_JP.sh を実行します。

デフォルトのインストールディレクトリは「/opt/hinemos_web」ですので、ここでは「/opt/hinemos_web/sbin」以下で操作を行います。

```
# cd /opt/hinemos_web/sbin
# ./webclient_uninstaller_JP.sh
```

6.3.1 アンインストール実行確認

インストーラの場合と同様に、アンインストール実行確認が表示されます。Y を押して決定すると、アンインストールが実行され、HinemosWebクライアントは削除されます。

尚、アンインストーラを途中で中断させることは出来ません。

```
-----
Uninstaller for Hinemos Web Client
Version 1.0.0
```

```
Copyright (C) NEC Corporation 2012. All Rights Reserved.
-----
```

アンインストール処理では以下の操作を行います。

デプロイ済みファイルの削除 :

/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/hinemos_web.war

サーバ設定の復元 :

/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer/server.xml_20120327193814

バックアップファイルの復元 :

インストールディレクトリの削除: /opt/hinemos_web

注意: この選択後、アンインストール処理が完了するまで停止させることは出来ません。

HinemosWeb のアンインストールを行いますか? (Y/N デフォルト:N):

6.3.2 アンインストール実行完了

アンインストールの実行が完了すると、アンインストール完了メッセージが表示され、アンインストールは終了します。

```
デプロイ済みファイルを削除しています。
[OK]

バックアップファイルより設定を復元しています。
[OK]

/opt/hinemos_web ディレクトリを削除しています。
[OK]

アンインストールが完了しました。
アプリケーションサーバを再起動してください。
```

6.4 アプリケーションサーバの起動

アプリケーションサーバを再起動し、削除されたことを確認します。アプリケーションサーバの起動方法は、ご使用中のアプリケーションサーバのマニュアルを参照ください。

本書の例では、Hinemosマネージャ上のJBossにインストールされていた為、Hinemosマネージャを再起動します。

```
# /opt/hinemos/bin/hinemos_start.sh
```

7 トラブルシューティング

ここでは、HinemosWeb クライアントのインストール、アンインストールが失敗する事象と、その原因について記載します。

7.1 インストーラのエラーメッセージ

インストーラ実行時に表示されるエラーと、その原因・対策について次の表 7-1 インストール中に表示されるエラーメッセージと原因・対処で説明します。

表 7-1 インストール中に表示されるエラーメッセージと原因・対処

メッセージ	原因	対処
バージョンファイルが検出できませんでした。Install.cfg の HINEMOS_WEB_HOME 設定を再設定して下さい。	別のアプリケーションディレクトリか、アンインストールに失敗したディレクトリを参照している場合に発生する。	既存のディレクトリを削除するか、存在しない新規のインストールディレクトリを指定します。
注意: server.xml 更新を行うことが出来ませんでした(ファイルが見つからないか、読み取り専用です)。手動での編集をお願いします。	server.xml にファイルロックが掛かっている、または、server.xml ファイルをインストーラが検索できなかった場合に発生する。	インストール自体は成功していますので、server.xml を手動で編集します。
root ユーザで実行してください。	root 以外のユーザでログインしている場合に発生する。	root ユーザでログインしてから再度インストーラを実行します。
インストールには JDK1.5 または JDK1.6 が必要です。 Java コマンドが見つかりません。 Jar コマンドが見つかりません。	JDK がインストールされていない、または、JDK のバージョンが1.5および1.6以外の場合に発生する。	JDK 1.5 または 1.6 をインストールします。
指定されたアプリケーションサーバディレクトリは存在しません。	install.cfg で入力したアプリケーションサーバディレクトリが存在しない場合に発生する。	インストール中の「4.5.2 アプリケーションサーバディレクトリ入力」にて正しいディレクトリパスを入力する。
サポートされていないHinemosのバージョンを検出しました。	Hinemos のバージョン 3.1/3.2 以外のHinemosがインストールされている場合に発生する。	お使いの環境ではHinemosWebクライアントはインストールできません。
…配下より、ライブラリディレクトリが検出できません。(/lib または /server/lib)	Tomcat を選択したインストール中に発生する。共有ライブラリディレクトリが検出できなかった。	指定したアプリケーションサーバパスが正しいかご確認ください。

…配下より、CATALINA_HOME ディレクトリが検出できません。	Tomcat を選択したインストール中に発生する。 (Tomcatホーム)/conf/Catalinaディレクトリが存在しない。	指定したアプリケーションサーバパスが正しいかご確認ください。
…ディレクトリを作成できません。	インストール先にディレクトリを作成することが出来ない場合に発生する。	アプリケーションサーバが停止しているか、ディレクトリを参照しているプロセスが他に無いかご確認ください。
コンテキストファイルのバックアップを作成できませんでした。	Tomcat を選択したインストール中に発生する。コンテキストファイルがアクセスを受け付けない、または、ディレクトリにファイルを書き込むことが出来ない。	アプリケーションサーバが停止しているか、ディレクトリを参照しているプロセスが他に無いかご確認ください。
jboss-config.xml の作成に失敗しました。	JBoss を選択したインストール中に発生する。 jboss-config.xml ファイルが作成、または、上書きできない。	アプリケーションサーバが停止しているか、ディレクトリを参照しているプロセスが他に無いかご確認ください。
既存の war ファイルがバックアップできません。	既存のデプロイ済みwarファイルがアクセスを受け付けない、または、ディレクトリにファイルを書き込むことが出来ない。	アプリケーションサーバが停止しているか、ディレクトリを参照しているプロセスが他に無いかご確認ください。
ライブラリディレクトリ(…)が検出できません。	JBoss を選択したインストール中に発生。共有ライブラリディレクトリが存在しない。	指定したアプリケーションサーバパスが正しいか、サーバ種別の選択が正しいかご確認ください。
デプロイディレクトリが検出できません。	JBoss を選択したインストール中に発生。デプロイ先ディレクトリが存在しない。	指定したアプリケーションサーバパスが正しいか、サーバ種別の選択が正しいかご確認ください。

7.2 アンインストーラのエラーメッセージ

アンインストーラ実行時に表示されるエラーと、その原因・対策について次の表(表 7-2 アンインストーラで表示されるエラーメッセージと原因・対処)で説明します。

表 7-2 アンインストーラで表示されるエラーメッセージと原因・対処

メッセージ	原因	対処
注意: インストールディレクトリ(…)が削除できませんでした。手動での削除をお願いします。	インストールディレクトリが削除できない場合に発生。	アプリケーションサーバ等を停止し、コマンドライン上より指定ディレクトリを手動で削除してください。 (アプリケーションサーバからは削除が成功しています)
アンインストーラは root ユーザで実行してください。	root 以外のユーザが実行した。	root ユーザでログインし、再度アンインストーラを実行します。
デプロイ済みファイルが見つかりません。	インストール時、アプリケーションサーバに配備されたファイルが検出できませんでした。	インストール後に、該当ファイルを削除・移動している場合は、「7.3 手動でのアンインストール」をご参照ください。
…ファイルの削除に失敗しました。	インストール時、アプリケーションサーバに配備されたファイルが削除できませんでした。	アプリケーションサーバが停止しているかご確認下さい。
…ファイルの移動を行うことが出来ません。	インストール時にバックアップしたデータを復元できませんでした。	アプリケーションサーバが停止しているかご確認の後、「7.3 手動でのアンインストール」の手順を実行してください。
HinemosWebClient のインストールディレクトリが見つかりません。	インストール時のディレクトリが検出できない。	「7.3 手動でのアンインストール」を実行してください。

7.3 手動でのアンインストール

この章では、何らかの理由により、インストール後の構成が壊れた場合における、HinemosWebクライアント削除方法を説明します。この手順を行う前に、必ずアプリケーションサーバを停止してください。

また、ここでの操作例は、Hinemosマネージャ上のJBossにデフォルトの設定でインストールされた場合として記述しております。

7.3.1 インストールされたファイルの情報確認

インストール時の情報を確認し、削除すべきファイル、バックアップファイルの名称などをここでメモします。

1. HinemosWebクライアントインストールディレクトリの、sbin/install.cfg を参照し、DEPLOYED_FILE_PATH及び、EDITED_XML をメモします。
2. sbin/_server ファイルの内容(インストール日時)をメモします。

```
# cd /opt/hinemos_web/sbin/

# less install.cfg
# 中略
DEPLOYED_FILE_PATH="/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/hinemos_web.war"
EDITED_XML="/opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer/server.xml"

# cat _server
20120323013817
```

7.3.2 インストールされたファイルの削除

アプリケーションサーバにインストールされたファイル、及び、設定ファイルを削除します。

1. DEPLOYED_FILE_PATH で指定されているファイルパスを参考に、アプリケーションサーバ内の同名ファイルを検索・削除します。
(デプロイファイル名_(インストール日時) のファイルは削除しないでください)
2. EDITED_XML で指定されているファイルパスを参考に、「server.xml」を検索し、「server.xml_(インストール日時)」のファイルがあるのを確認した上で「server.xml」を削除します。
(「server.xml_(インストール日時)」が存在しない場合は削除しないでください)

```
# cd /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/
# ls hinemos_web.war*
hinemos_web.war      hinemos_web.war_20120323013817

# rm hinemos_web.war
rm: remove 通常ファイル `hinemos_web.war'? y

# cd /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer
# ls server.xml*
server.xml      server.xml_20120323013817

# rm server.xml
rm: remove 通常ファイル `server.xml'? y
```

7.3.3 バックアップファイルの復元

インストール時にバックアップされたファイルを元に戻します。

1. DEPLOYED_FILE_PATH で指定されたファイル名を元に、「(デプロイされていたファイル名)_(インストール日時)」のファイルが存在する場合は、「(デプロイされていたファイル名)」にリネームします。
2. 「server.xml_(インストール日時)」のファイルを、「server.xml」にリネームします。

```
# cd /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/  
# mv hinemos_web.war_20120323013817 hinemos_web.war  
  
# cd /opt/hinemos/jboss-4.2.2.GA/server/default/deploy/jboss-web.deployer  
# mv server.xml_20120323013817 server.xml
```

7.3.4 HinemosWeb クライアントインストールディレクトリの削除

HinemosWebクライアントインストールディレクトリをサブディレクトリも含め削除します。

```
# cd /opt  
# rm -rf hinemos_web/
```

7.3.5 アンインストール確認

アプリケーションサーバを起動し、HinemosWebクライアントにアクセスできない(または、バックアップされていたインストール以前のWebサイトが表示される)ことを確認できれば、アンインストール作業は完了です。

7.4 インストールログ・アンインストールログ

インストーラ・アンインストーラは、実行時に表示されたメッセージ全てをログとして記録します。ログは通常以下のパスに出力されます。(出力先はインストール設定ファイルの編集により変更可能です。)

既にインストールログがある場合、既存の内容は追記されます。

表 7-1 インストール・アンインストールログファイルの出力先

インストールログ	/root/install.log.hinemos_web
アンインストールログ	/root/uninstall.log.hinemos_web

8 変更履歴

版	変更日	変更内容
第1.0版	2012/08/01	初版発行
第1.1版	2013/01/01	誤字の修正

HinemosWebクライアント ver1.0 インストールマニュアル

作成者: NEC Corporation , NEC Soft, Ltd

この文書は

クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 2.1 日本
のもとでライセンスされています。

(<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/jp/legalcode>)



Hinemosは(株)NTTデータの登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中には TM、R マークは表記しておりません。